

目次

- HOBIA 年次総会 報告
- 5月例会報告
- 北大食資源学院講演会案内
- 北海道経済産業局組織改編のお知らせ
- 道立食品加工研究センター年次発表会参加御礼

● HOBIA 年次総会 報告

当協会の令和元年度総会が、2019年5月31日北海道大学学術交流会館にて開催されました。当協会は、1885年に設立され（34年前）、2002年にNPO法人となり、毎年積み重ねてきた年次総会となります。

昨年度報告のご承認を賜ったのに引き続き、本年度事業へのご賛同も頂きました。札幌での活動だけでなく、広い北海道の他の地域でもバイオ産業振興に資するセミナーなどを地域と協力して行う地域バイオ育成事業も引き続き実施いたします。北海道以外の地位（国外、国内）のバイオ団体とも情報交換を密にして、新しい情報を引っ張ってくる活動も行います。北海道の中の新しい動きを体感して頂くための見学会も予定しております。

今後も会員の皆様からの積極的な意見を賜り、バイオの知識や技術を活用した産業振興を進めてゆく活動を行います。

● 5月例会報告

「食品機能性及びバイオマーカー探索研究におけるメタボロミクスの新展開」

ヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社
営業・マーケティング本部長 亀谷 直孝 氏
ヘルスケアセールス部 横山 彩 氏

この会社は、2003年に設立され、メタボローム解析事業、バイオマーカー事業を設立当初から行ってきている。メタボロームとは、一連の omics 分野で代謝産物の種類や濃度を網羅的に分析・解析する手法であり、食品、細胞、飲料品がどのように生体に影響を与えるかを知るには最も重要な技術のひとつである。今日機能性食品の生体内での挙動や影響を見る上で極めて重要な手法になりつつあると言える。ヒューマン・メタボローム・テクノロジー株式会社（HMT）は測定対象を質量 50 から 1000 として、これまでに様々な事例に取り組んでおりその経験を公開した。今回の講演の中で筆者の注目したものは、「食事の効果メカニズムの解明・検証、快適な睡眠状態の把握、ストレス度合いの把握と判定、運動効果メカニズムの解明・検証であった。これらを通じて、新規機能性成分の探索。食品加工プロセス改善、保有素材の摂取効果メカニズム解明、健康機能拡大におけるエビデンス構築に成功したことに注目した。特に注目したいのは、高効率な機能性食品開発にどう貢献できるかが興味深い。これには、基礎から、臨床応用或いは加工から上市に向けて重要な実証データを取れるのは間違いない。また新たな代謝産物を見出せる可能性がある。しかも代謝産物総体の変化を総合的に捉えることで総合評価も可能になり、より一層エビデンスベースの開発、効果の判定などができると期待できる。疾病マーカーも多数開発中であり、これからの社会で必要な精神的な面での医療や食品の開発、或いは生活指導などにも新たな展開が期待できる。高齢化社会でのフィジカル、メンタルの両面での新展開に期待したい。これらについて多数の成功例を公開してもらったのはありがたいことであった。今回は北海道で食品加工産業が重要なものであるところから、食品加工分野での利用例を紹介してもらったのは大変参考になった。ワイン、ビール、日本酒の解析例も特徴をだす上で興味あるものであった。

（文責：アグリバイオ部会担当理事 富田房男）

● 世界の食資源システムにおける生物多様性に関する国際シンポジウム

食料安全保障は、人口増加、貧困、グローバリゼーション、気候変動、その他の要因により大きな課題に直面しています。生物多様性は、世界の食料安全保障を守り、健康的で栄養価の高い食事を支え、農村生活を向上させ、そして人々と地域社会の回復力を高めるために不可欠です。

このシンポジウムでは、世界の食料システムにおける生物多様性とその関連課題に関する先端的な研究と実践的な取り組みが紹介されます。本シンポジウムの目的は、世界の食資源に関する問題を解決するための学際的研究を促進することです。

日時：2019年7月24日（水）10:00～17:30

場所：北海道大学 鈴木章 ホール（札幌市北区北13条西8丁目）

主催：北海道大学国際連携研究教育局（GI-CoRE）食水土資源グローバルステーション（GSF）

共催：国際食資源学院、農学研究院、工学研究院およびロバスト農林水産工学国際連携研究教育拠点

講師：Principal and Chief Executive, Prof. Wayne Powell, Scotland's Rural College, UK/
Executive Director of the California Institute of Food and Agricultural Research,
Prof. Sharon P. Shoemaker, University of California, Davis, US

※（講演：英語、通訳なし、参加費無料）

[2019.7.24SymposiumGSF-1](#)

[Program7.24](#)

<お問合せ> Tel: 011-706-3866

E-Mail: gsf@oia.hokudai.ac.jp

● 北海道経済産業局組織改編のお知らせ

～地域経済部における「健康・サービス産業課」の新設～

北海道経済産業局では、平成31年4月1日付けで組織の改編を行いました。「バイオ産業課」からバイオ産業関係の業務を、「情報・サービス政策課」からサービス産業関係及びヘルスケア産業関係の業務を移管し、「健康・サービス産業課」を新設しました。

北海道の特色を活かしたバイオ・ヘルスケア産業を効果的に創出・育成するため、管内バイオ産業、ヘルスケア産業及び周辺サービス産業の振興を総合的に実施します。なお、組織全体の改編内容については、以下を参照下さい。

<https://www.hkd.meti.go.jp/hokss/20190401/index.htm>

● 道立食品加工研究センター年次発表会参加御礼

「平成31年研究成果発表会を終えて」

過日、4月24日に札幌ビューホテル大通公園にて当北海道立総合研究機構食品加工研究センターの「平成31年研究成果発表会」を開催し、盛会の内に終了することができました。会員の皆様にも多数ご参加いただき、厚く御礼申し上げます。最終的な参加者の数は321名となり前年度よりも減少しましたが、会場もゆとりがある状態になり、特に試食会場ではゆっくりご覧いただけただのではないかと思います。

協力機関の発表も含みますが、口頭発表8題、ポスター発表6題の他、技術支援課の実績の報告や新たな事業展開のお知らせ、保有特許とその利用事例のポスター掲示などをさせていただきました。共同研究や技術支援の成果を利用して開発された食品の試食コーナーには、4社から4品目のご提供があり、新鮮な情報をご提供できたのではないかと存じます。また、一昨年度から実施いたしました交流会は、参加は72名と少なめでしたが、和やかな雰囲気でお話できたのではないかと思います。

来年も、同時期に同じ会場での発表会ができるものと思いますので、またのご参加をお待ち申し上げます。
（食加研専門研究員・HOBIA企画運営委員 富永一哉）

HOBIAのホームページ <http://www.hobia.jp>

NPO法人 北海道バイオ産業振興協会
札幌市北区北21条西12丁目コラボ北海道内